

救助に時間がかかっても、自分と仲間を救う技術 -Wilderness Medical Workshop(WMW)-

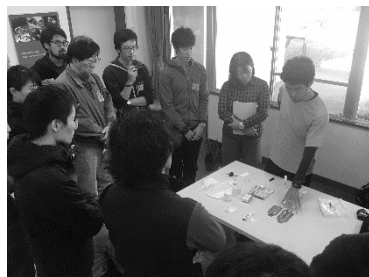


www.wmajapan.com

林業で使われる里山エリアは、ひとたび事故が起きると、複雑な地形や救助の困難さからすぐに過酷な環境になってしまいます。

救助に時間がかかる環境でケガや病気になってしまった仲間を救うためには、確かな知識と技術が必要です。

世界で活躍する野外のプロたちが選ぶ **WMAJ** の**野外救急法**は最悪の状況にも立ち向かう林業従事者へ最適な救急知識を提供します。



この講習を受けて身につくこと。

高校生から 70 代までが受講する理由。

- 道具が少ない野外環境下でも最適な処置を施すことができる
- ケガ人や病人の「深刻度」を判断し「この先の状態」を予測できるようになる。
- 救助要請をするべきかの明確な判断基準を手に入れることができる
- 立地や環境を加味した「現場での最善」を、根拠をもって判断ができる。
- 救助隊到着までの長い時間、「何していいかわからない」不安から解放される。
- 仕事の時だけでなく、災害時などの地域防災にも役に立つ力を手に入れる。



日本語化された分かりやすい教材で学びをサポート

林業従事者の安全を、医療側面から支えます。

これまで愛知県や長野県を中心に林業組合や会社の社員研修への導入が増えています。各種省庁助成金を利用した講習開催も実施されています。

野外災害救急法が現場の安全性を確実に高めます。

世界 31 か国で選ばれる、野外災害救急のスペシャリスト

一般社団法人 **ウィルダネスメディカルアソシエイツジャパン (WMAJ)**



Wilderness Medical Workshop

サンプルスケジュール

**WFA ベーシックコースと同等の内容を、実技 1 日に凝縮。
まとまった時間がとりにくい社員研修に抜群の効果を発揮します。**

事前オンライン学習

- 6 日間の範囲視聴可能
 - 3 時間程度のビデオレクチャーと実技デモンストレーション
- 開始日前日に、担当インストラクターより使用に関する案内メールが届きます。
- 合計 9 単元：各単元の後には確認クイズがあり、それに合格しないと次の単元には勧めません
 1. 一般原則
 2. 傷病者評価システム（P A S）
 3. 傷病者の保護
 4. 呼吸器系
 5. 循環器系
 6. 神経系
 7. 筋骨格系
 8. 体温調節
 9. 野外での疾病

対面実技（8 時間 以下 9:00～18:00 の例）

- 9:00～10:00 オリエンテーション／傷病者評価システム（P A S）
- 10:00～11:00 一次救命処置（大出血／脊椎／意識なし／呼吸不全）
- 11:00～12:00 傷病者の保護／脊椎損傷者の体位変換と移動
- お昼休み
- 13:00～14:30 重要器官系
- 14:30～15:30 アレルギー
- 15:30～16:30 筋骨格系
- 16:30～17:30 溺水と落雷／体温調整
- 17:30～18:00 シミュレーション

【講師派遣条件】 ※くわしくはお問い合わせください。

- **コース参加費-おひとり 33,000 円**（教材費・派遣料・インストラクター各種経費・保険料等含む）WFA コースよりも約 2 万円お得 ※最低保証人数あり
- **定員-18 名**（18 名を超える際はご相談ください）
- **所要日数-オンライン 6 日+実技 1 日**（オンライン学習はお好みの時間で視聴できます）

※WFA と同等の内容をお届けしますが、資格の発行はありません。」

【お問い合わせ】

一般社団法人ウィルダネスメディカルアソシエイツジャパン
03-6763-0030 office@wildmed.jp



**WILDERNESS MEDICAL
ASSOCIATES JAPAN**